

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日：2022年9月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部
留学先国	米国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学バークレー校 現地言語： University of California Berkeley
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	4年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	4年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年8月31日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：5月下旬～8月中旬 2学期： 3学期： 4学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	約3万人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料		740,776円	
宿舍費		760,228円	
食費		70,268円	
図書費		20,304円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		22,930円	
現地交通費		52,132円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		45,495円	形態：明治大学の保険
渡航旅費		128,990円	
ビザ申請費		円	
雑費		50,375円	
その他		174,563円	
その他		円	
合計		2,053,661円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地：成田 目的地：パークレー 経由地：ロサンゼルス 復路 出発地：パークレー 目的地：羽田 経由地：ロサンゼルス
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社：_____ 料金：_____
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：エアカナダ 料金：62490 円 復路 航空会社：ユナイテッド航空 料金：66500 円 ∴合計：128990 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店（店名：_____） <input checked="" type="checkbox"/> インターネット（サイト名：航空会社 HP _____） <input type="checkbox"/> その他（_____）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮（寮の名前：I-House） <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数 _____）
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン（ <input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可）
4) 住居を探した方法：
大学からの紹介
5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）
他の寮などと比べて値段は高いようですが、快適に暮らせるのでおすすめです。ビジネス系の授業が開かれているエリアから近いのも便利でした。寮に住んでいる人は現地の学生から留学先まで様々な人がいるため、良い交流の場になると思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。（例：現地の病院、学内の診療所）
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（治療を受けた場所：_____）
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。（例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等）
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（問題の内容や相談した人等：_____）
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をされましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
キャンパス周辺で事件などが起きた時は大学からメールが来るので確認していました。キャンパス周辺は比較的治安は良いですが、日本に住んでいるときと同じ感覚で夜間に外出するのは危険だと思います。
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）
大学内と寮内にWi-Fiが通っているため基本的にはそれらを利用していました。事前に報告書などでWi-Fiの調子が悪い時があるという情報を見かけたので、月30GBの通信を契約しました。
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）
現金500ドル程度とクレジットカード2枚を持参して行きました。
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
薬です。私が滞在していた場所は乾燥していたので、使い慣れている保湿クリームなどは多めにあったほうが良いです。
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。（例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。）
渡航前にクレジットカードと海外送金で支払いました。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 () ・履修の制限はありましたか？ 特になし		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名（留学先大学言語）:		履修した授業科目名（日本語）:
Marketing		マーケティング
科目設置学部・研究科		
履修期間	SessionA	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回	
担当教授	Janet Brady	
授業内容	世界中の企業のマーケティング事例を講義や課題を通して学ぶものでした。教授が質問したことについて手を挙げて答える場面も多かったです。	
試験・課題など	個人課題 2 回、グループプレゼンテーション 1 回、最終試験 1 回でした。個人課題は与えられたテーマとそれに関する質問に対して回答する形式でした。グループプレゼンテーションはある企業のマーケティング事例について調べて発表する形式でした。最終試験はマーケティング知識に関する選択式の問題でした。	
感想を自由記入	教授の方はとても優しく、分からないことは何でも聞ける方でした。グループプレゼンテーションの準備は私たちのグループは準備期間が短かったため大変でしたが、達成感があります。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）:		履修した授業科目名（日本語）:
Leading People		リーディングピープル
科目設置学部・研究科		
履修期間	SessionA	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回	
担当教授	Janet Brady	
授業内容	組織開発に関する内容でした。授業ではいくつかの集団の事例を取り上げて、ディスカッションする機会が多かったです。	
試験・課題など	個人課題 1 回、グループプレゼンテーション 1 回、中間試験。最終試験でした。グループプレゼンテーションでは、実際に企業で働いている人にインタビューをして組織開発の事例を発表する形式でした。中間試験と最終試験は授業で出てくる用語や知識を問われる選択式の問題でした。	
感想を自由記入	マーケティングの授業と同じ教授でした。授業内容はそれほど難しくないため、発言できる機会が多かったですが、試験はしっかりと教科書を読んでいなければ解けない問題が多く、試験勉強の時間は多く割きました。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Ethnicity and Race in Contemporary American Films	現代アメリカ映画にみる民族と人種
科目設置学部・研究科	
履修期間	SessionD
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に240分が2回
担当教授	Raymond Telles
授業内容	ドキュメンタリー映画を観て、民族や人種問題に関する考察をするという内容でした。授業中に1つドキュメンタリー映画を観て、グループディスカッションと発表がありました。
試験・課題など	個人課題3回でした。 個人課題は授業で扱った映画の感想を書くものでした。求められる分量は多かったですが、自分の考えを書くためそれほど大変ではなかったです。
感想を自由記入	教授の方はドキュメンタリー映画では知られている監督で、授業内容が私にとってとても興味深いものでした。人種問題に関するアメリカの教育を知ることができて良い経験になりました。また、日本人移民に関する映画も取り上げられていて、発言の機会もありました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記2以降は記入不要）
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
業界地図
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません） ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 （例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。） ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
近年就職活動が急速に早期化しており、3年生でサマーセッションに行っていた人の多くは就職活動を徐々に進めていました。そのため、希望する業界の採用活動の動向は早めに知っていたほうが良いです。しかし、早期化しているからといって留学を諦めることをしてほしくはありません。採用面接では学生時代に力を入れたことを聞く企業が多いため、面接で話すネタを作るためには留学はとて良い経験だと思います。もちろん面接のためだけに留学するのはおすすめしませんが、留学中に自分で企画して交流会をしたり、新たなことにチャレンジしたりすることは就職活動に良い影響になると思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEIC 試験
	10月～12月	出願
留学開始年	1月～3月	履修登録、インターナショナルハウスの申し込み
	4月～7月	留学
	8月～9月	帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

UC バークレーを選んだ理由は、世界トップレベルのビジネススクールで授業を受けたかったからです。実際に、周りの留学生のレベルも高く、とても良い刺激になりました。サマーセッションは通常は半年かけて扱う内容を6週間で短期的に学ぶため、必然的に課題や試験に追われます。試験前など忙しいときは夜遅くまでインターナショナルハウスの図書館で勉強していました。土日は授業がないため、友達とお出かけしたり、一緒にスポーツをしたりしてリフレッシュをしていました。日頃の生活については、初めは英語でどう伝えればよいのか分からず苦戦していましたが、毎日会話すれば自然と英語が出てくるようになりました。ある程度リスニング能力があれば日常生活にはすぐに慣れると思います。インターナショナルハウスに住んでいる大半は留学生で、英語が第一言語ではない人も多いです。そのため比較的聞き取りやすいですし、完璧な文法でなくても相手の言っていることを理解しようとしてくれることが多いです。留学に初めて行く方は、ぜひ躊躇せずどんどん話して友達を作ることをおすすめします。